

日本学術振興会 学術システム研究センター 令和8年度新規研究員候補者の推薦について



令和7年2月13日（木）

独立行政法人日本学術振興会
学術システム研究センター

説明概要

1. 学術システム研究センターの概要

- 組織、役割
- 業務内容
- 研究員の待遇等

2. 令和8年度新規研究員の推薦について

- 選考基準(抜粋)
- 推薦募集内容
- 推薦にあたって

説明概要

1. 学術システム研究センターの概要

- 組織、役割
- 業務内容
- 研究員の待遇等

2. 令和8年度新規研究員の推薦について

- 選考基準(抜粋)
- 推薦募集内容
- 推薦にあたって

学術システム研究センターの設置

Research Center for Science Systems (RCSS)

【設置】平成15年7月

【目的】厳正で透明性の高い評価システムの確立と、大学等で活躍する第一線級の研究者が課題選定から評価・フォローアップまで一貫して責任を持ちうるプログラムディレクター、プログラムオフィサー制度を整備することを目的として設置。

「競争的研究資金制度改革について中間まとめ」（意見） 総合科学技術会議 平成14年6月19日

3. 公正で透明性の高い評価システムの確立

(2) 研究課題管理者（プログラムオフィサー）等の設置

（第2期科学技術基本計画等においては、）各制度の個々のプログラムや研究分野で課題の選定、評価、フォローアップ等の実務を行う研究経歴のある責任者「**プログラムオフィサー**」と競争的研究資金制度と運用について統括する研究経歴のある高い地位の責任者「**プログラムディレクター**」を各配分機関に専任で配置し、競争的研究資金制度の一連の業務を一貫して、科学技術の側面から責任を持ち得る実施体制が整備されるよう努めるとされており、さらに以下のように具体的に推進する。

- ***プログラムディレクター（PD）**： 研究者としての経歴を有し、競争的資金の制度とその運用について統括する立場にある者
- ***プログラムオフィサー（PO）**： 研究者としての専門的な見識と知見に基づいて、審査や評価等の業務を行う者

学術システム研究センターの特色

第一線の研究者の意見を反映した事業の制度設計・運営 ～学振のシンクタンク～

- ☐ 研究員はすべて非常勤
 - * 第一線で活躍するトップレベルの現役の研究者が就任
- ☐ 任期は3年とし、研究者の流動性を確保
 - * 研究者の様々な声を業務に反映
- ☐ 審査・採択そのものには一切関わらない
 - * 厳正で透明性の高い評価システムの確立に寄与

学術システム研究センターの組織

【設置】平成15年7月

【目的】厳正で透明性の高い評価システムの確立と、大学等で活躍する第一線級の研究者が課題選定から評価・フォローアップまで一貫して責任を持ちうるプログラムディレクター（PD）*、プログラムオフィサー（PO）*制度を整備することを目的として設置。

運営委員会

所長
大野 弘幸

副所長

岸本 美緒 西田 栄介

顧問
小林 誠
佐藤 勝彦
黒木 登志夫

相談役
福田 裕穂

参与
尾辻 泰一

主任研究員会議

専門調査
班会議

ワーキング
グループ

- 研究員は全て非常勤で、第一線で活躍するトップレベルの現役の研究者
- 任期は3年、研究者の流動性を確保

人文学専門調査班	主任 2	専門 1 0
社会科学専門調査班	主任 3	専門 1 0
数物系科学専門調査班	主任 3	専門 1 1
化学専門調査班	主任 3	専門 9
工学系科学専門調査班	主任 4	専門 1 6
情報学専門調査班	主任 3	専門 8
生物系科学専門調査班	主任 3	専門 8
農学・環境学専門調査班	主任 5	専門 1 5
医歯薬学専門調査班	主任 5	専門 2 1

*PD：所長、副所長 計3名による構成。

研究者としての経歴を有し、競争的資金の制度とその運用について統括する立場にある者

*PO：主任研究員 31名、専門研究員108名による構成。研究者としての専門的な見識と知見に基づいて、審査や評価等の業務を行う者

学術システム研究センター所長、副所長、相談役、顧問

所 長



大野 弘幸

副 所 長



岸本 美緒



西田 栄介

相談役



福田 裕穂

顧問



小林 誠



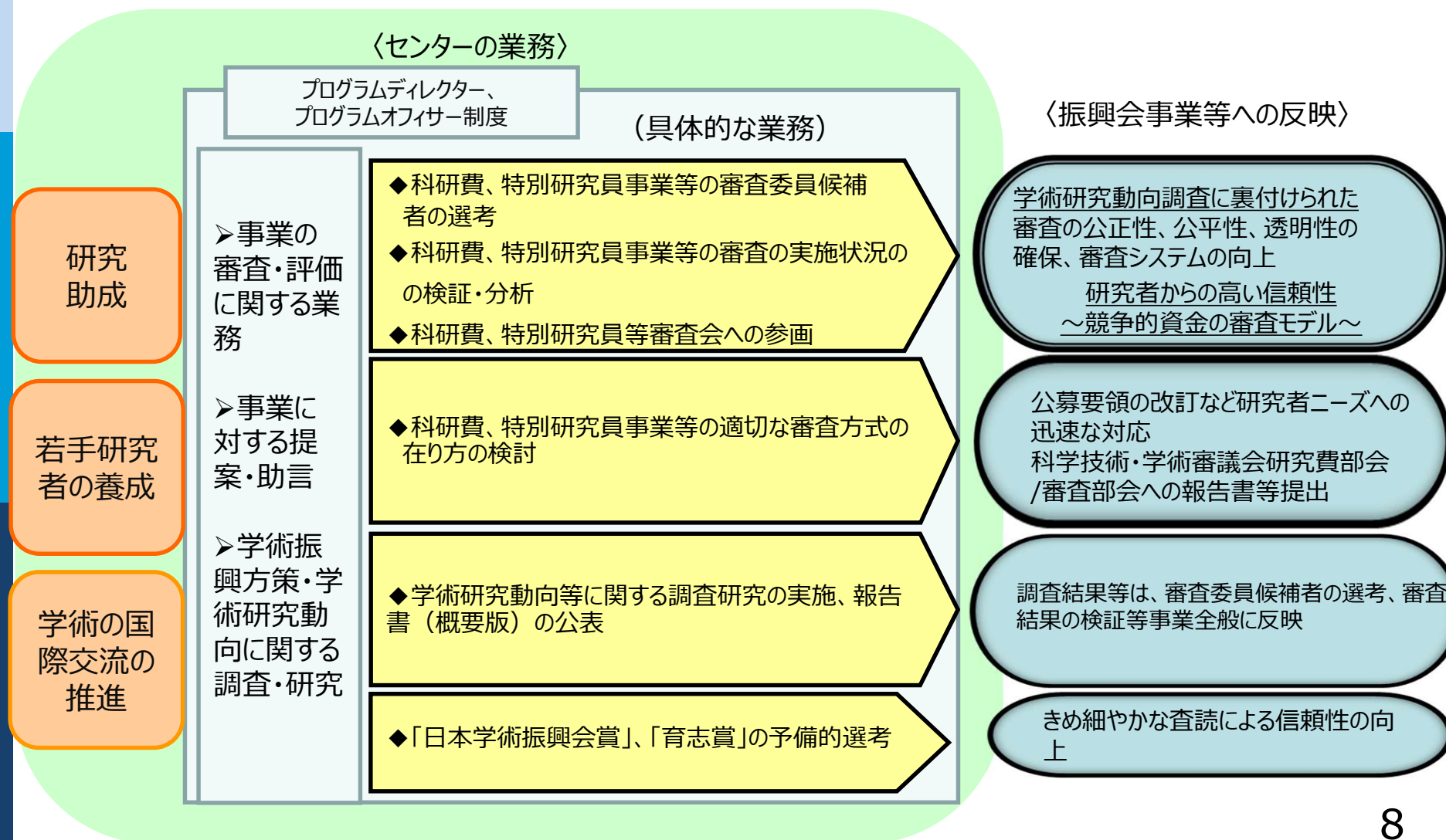
佐藤 勝彦



黒木 登志夫

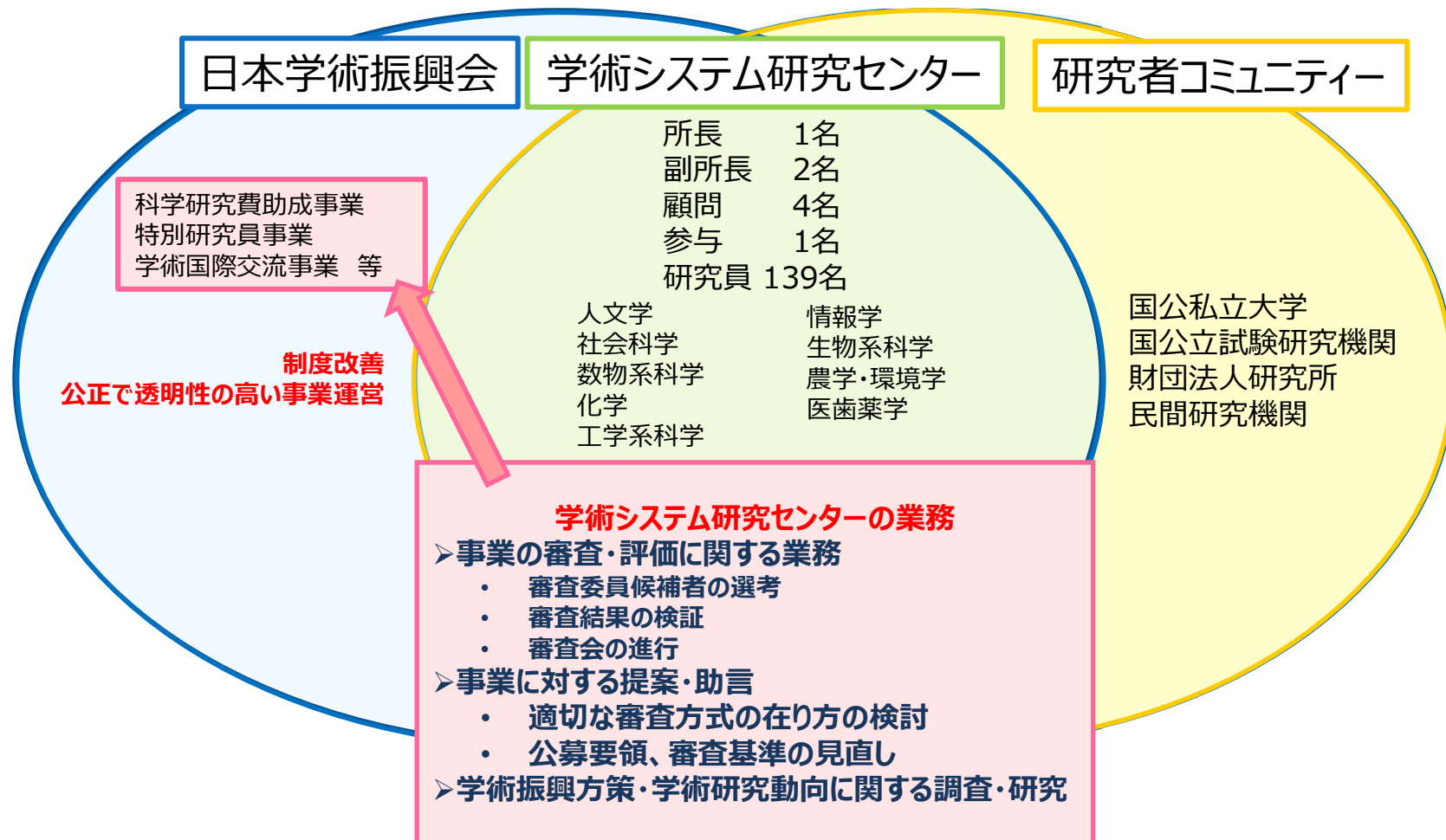
研究者の意見を取り入れた効果的な事業の運営や 制度改革の推進

— 研究者が主体的に、学術振興事業の設計、運営に参画 —



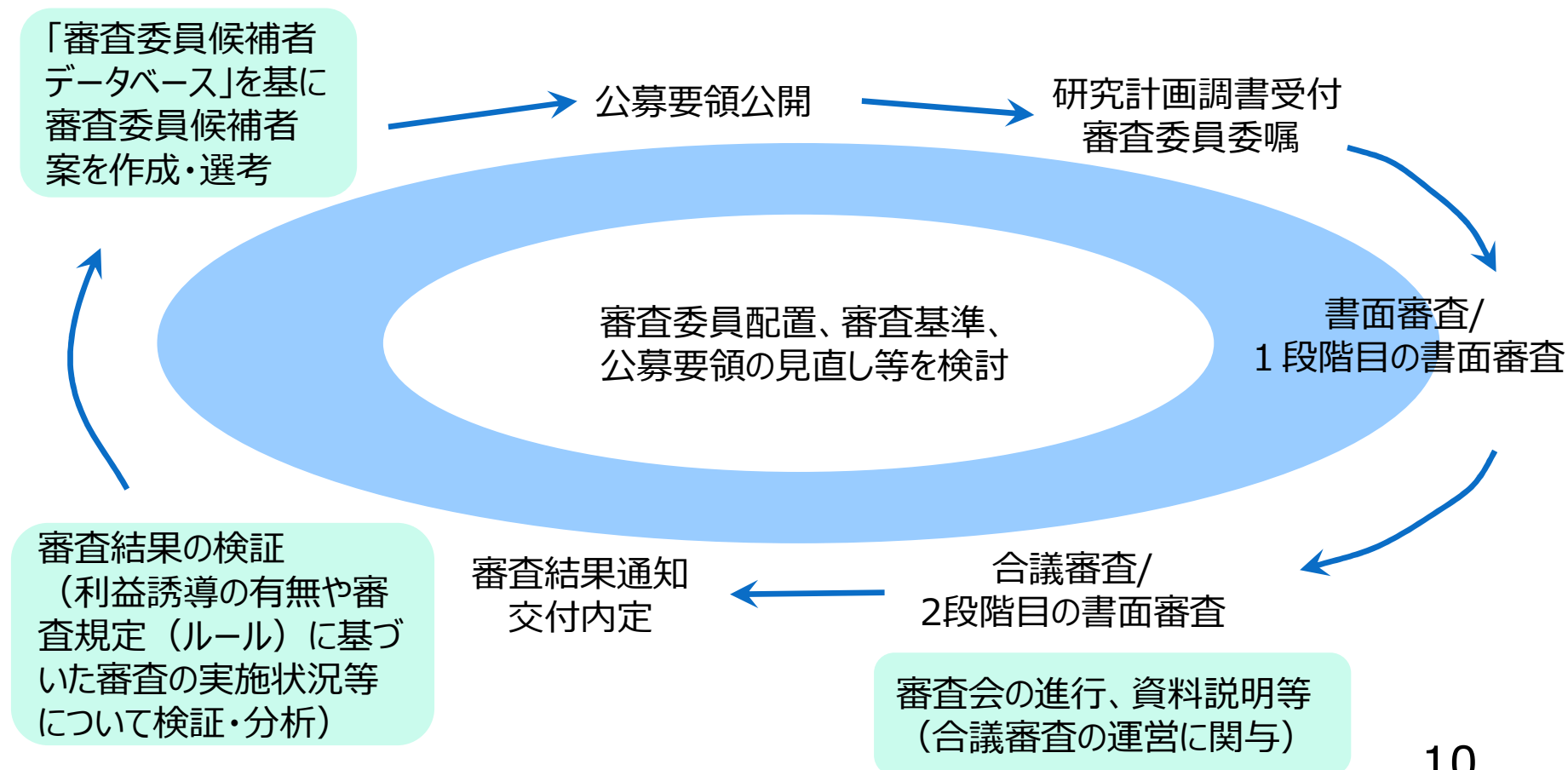
学術システム研究センターの役割

～公正で透明性の高い審査・評価制度、制度改善に向け、
研究者コミュニティとの橋渡し～



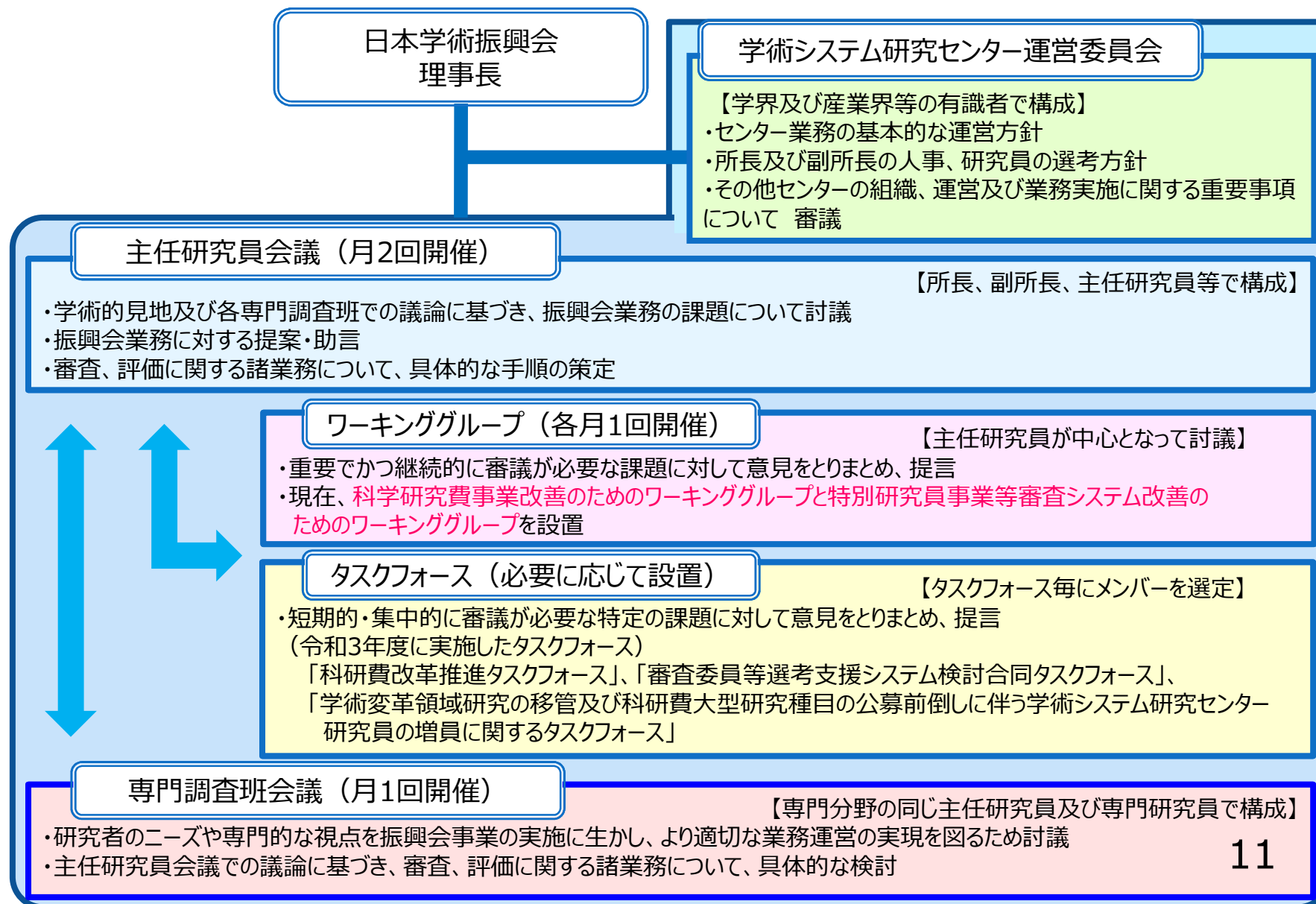
科研費に関する学術システム研究センターの役割

センター研究員は審査・採択そのものには関わらない



学術システム研究センターの業務運営

～各種会議の果たす役割：様々な課題についての「議論の場」～



令和7年度学術システム研究センター会議開催日程

①主任研究員会議：第1、第3金曜日 10時～

②専門調査班会議：月1回開催。開催日は専門調査班毎に設定

③科研費事業改善のためのワーキンググループ（科研費WG）：第1金曜日 13時～

④特別研究員等審査システム改善のためのワーキンググループ：第3金曜日 13時～

月	火	水	木	金
				第1金曜日 10：00-12：00 主任研究員会議 13：00-15：00 科研費WG 16：00-18：00 生物系科学専門調査班会議
				第2金曜日 13：30-15：30 農学・環境学専門調査班会議 16：00-18：00 数物系科学専門調査班会議
	第3火曜日 15：30-17：30 情報学専門調査班会議			第3金曜日 10：00-12：00 主任研究員会議 13：00-15：00 特別研究員WG 15：30-17：30 人文学専門調査班会議 社会科学専門調査班会議
	第4火曜日 14：00-16：00 化学専門調査班会議			第4金曜日 13：00-15：00 医歯薬学専門調査班会議 15：30-17：30 工学系科学専門調査班会議

} 合同

※月により変更の可能性があります。

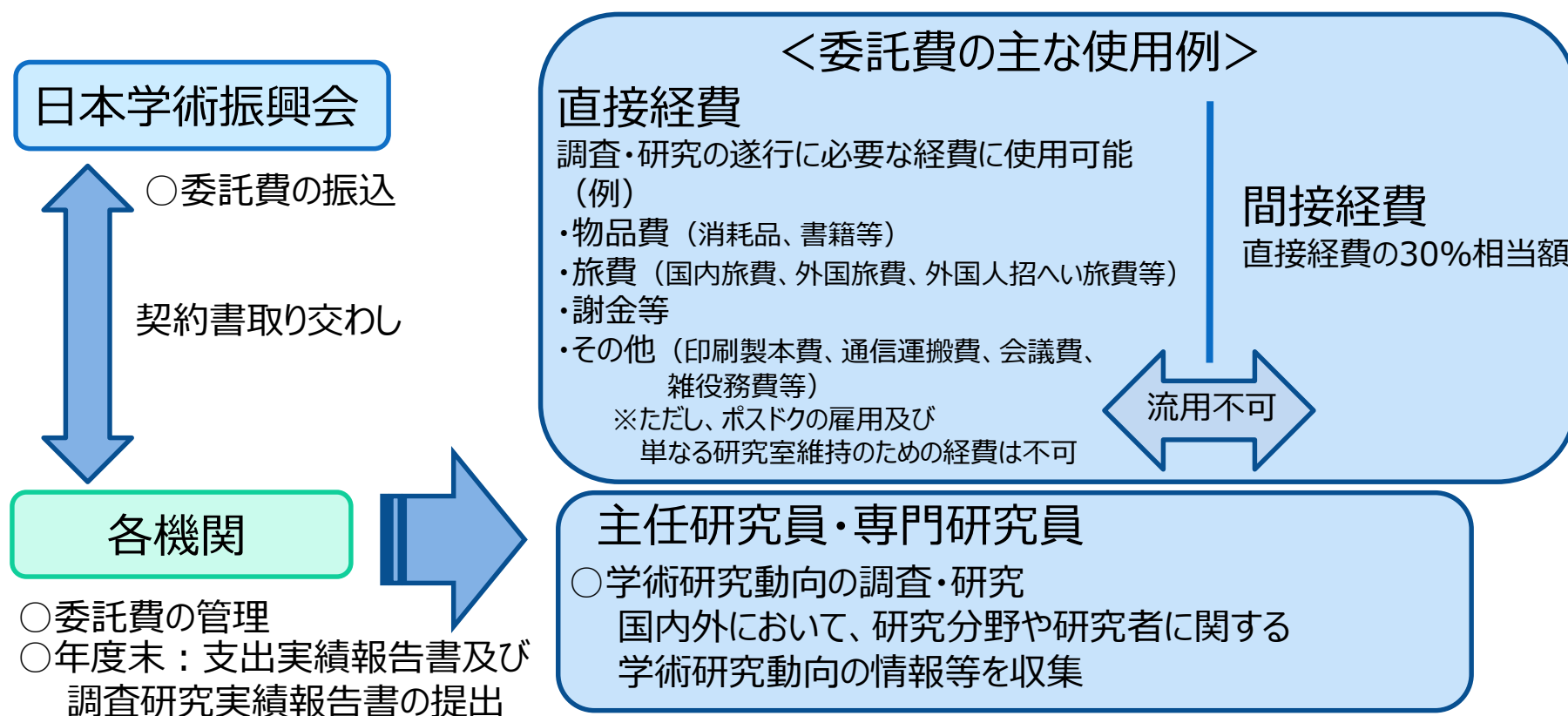
学術システム研究センター研究員の 委嘱に係る条件・待遇

	【主任研究員】	【専門研究員】
委嘱内容	本会業務に従事 (年340時間・月28時間程度 ※会議出席時間は除く)	本会業務に従事 (年340時間・月28時間程度 ※会議出席時間は除く)
待遇	◆ 実務にかかる謝金 月額 110,000円〔税込み〕*	◆ 実務にかかる謝金 月額 92,000円〔税込み〕*
	◆ 会議出席謝金 日額 15,000円〔税込み〕*	◆ 会議出席謝金 日額 15,000円〔税込み〕*
	◆ 来会に伴う旅費・宿泊費	◆ 来会に伴う旅費・宿泊費
	◆ その他、振興会の業務遂行に必要な経費 (実費)	◆ その他、振興会の業務遂行に必要な経費 (実費)
委託	◆ 学術研究動向調査等研究費 直接経費:計画書に基づいて委託額を決定 (令和6年度標準額 400万円/年*) 間接経費:直接経費の30%相当額* ※機関への委託のため委嘱の業務外	◆ 学術研究動向調査等研究費 直接経費:計画書に基づいて委託額を決定 (令和6年度標準額 120万円/年*) 間接経費:直接経費の30%相当額* ※機関への委託のため委嘱の業務外

* 規程の改正等により金額が変更となる場合があります。

学術研究動向等に関する調査研究の委託契約について

- 研究員の「学術研究動向等調査研究」業務について、日本学術振興会と研究員の所属機関が委託契約を取り交わす。
- 研究員が最新の学術研究動向や学術振興方策についての調査研究を行い、振興会の学術振興事業への提案や業務実施の際の基礎資料として活用するとともに、その概要報告を一般に公開する。



* 委託費の使用にあたっては、「研究活動の不正行為への対応ガイドライン」（文部科学省）等を踏まえ、適正な執行・管理に努めること。

説明概要

1. 学術システム研究センターの概要

- 組織、役割
- 業務内容
- 研究員の待遇等

2. 令和8年度新規研究員の推薦について

- 選考基準(抜粋)
- 推薦募集内容
- 推薦にあたって

学術システム研究センター研究員の選考

選考基準（抜粋）

□ 資格要件

- ・ 科研費等の研究代表者としての経験がある者又はその審査に関わった経験のある者。

□ 必要な資質

- ・ 専門分野を中心に学術研究に関する幅広い識見、高い倫理意識を有し、公正かつ適切な判断ができること。
- ・ 優れた研究能力を有し、意欲があり積極的な協力が期待できること。

□ 選考における留意点

- ・ 研究現場の第一線で活躍中であり、任期終了後も教育・研究機関において研究活動を継続する予定である者が望まれる。
- ・ 原則として、前任者と同一の機関及び専門を同じくする者は選任しない。
- ・ 国・公・私立大学及び大学共同利用機関、産業界の研究機関など所属する機関のバランスに配慮する。
- ・ 地域バランス及びジェンダーバランスに配慮する。

令和8(2026)年度新規研究員推薦募集

- 受付期間：令和7年3月24日（月）～4月11日（金） 17時
- 令和8(2026)年度募集人数：

主任研究員14 専門研究員39（令和7年度任期満了の研究員の後任）

→原則として、**前任者と同じ所属機関ではない、同じ専門ではない方**
かつ、（専門）同様の**中区分程度を俯瞰**できる方
（主任）**学問領域をより大所高所から俯瞰**できる方

☆推薦基本情報の登録及び候補者調書等（様式）を御提出ください。

詳細は以下のウェブサイトを確認ください。

https://www.jsps.go.jp/j-center/po_senkou.html

（令和7年度の研究員リストは、推薦要項関係資料「資料6」を御覧ください）

後任を募集する研究員の分野の考え方

情報学専門調査班の場合

資料6

が令和7(2025)年度で任期満了になり、今回の推薦で後任を募集する研究員

【情報学専門調査班】

区 別	氏 名	性 別	所 属	専 門 分 野
主任研究員	松 本 健 一	男	奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科教授	ソフトウェア工学
	吉 村 奈 津 江	女	東京科学大学情報理工学院教授	脳情報デコーディング
	村 尾 美 緒	女	東京大学大学院理学系研究科教授	量子アルゴリズム・量子情報理論
専門研究員	竹 房 あ つ 子	女	国立情報学研究所アーキテクチャ科学研究系教授	計算機システム、高性能計算
	橋 本 浩 一	男	東北大学大学院情報科学研究科教授	知能ロボット
	井 上 弘 士	男	九州大学大学院システム情報科学研究院教授	計算機アーキテクチャ、大規模集積回路
	櫻 井 祐 子	女	名古屋工業大学工学研究科教授	知能情報学
	大 崎 美 穂	女	同志社大学理工学部教授	機械学習と知識発見
	滝 沢 研 二	男	早稲田大学理工学術院教授	計算力学
	灘 本 明 代	女	甲南大学知能情報学部教授	データ工学、SNS解析
	村 松 正 吾	男	新潟大学自然科学系(工学部)教授	多次元信号処理、画像処理

* 選考にあたり、調査班内の専門分野の補完性と重複に配慮します。また、原則として前任者と同じ所属機関、同じ専門分野からは選任しません。

- 令和7年度で主任研究員1名、専門研究員2名が任期満了となる(グレー箇所)
→後任となる主任研究員1名、専門研究員2名を募集
- 原則として、前任者と同じ「所属」ではない、同じ「専門分野」ではない方を、
機関のバランス・地域バランス及びジェンダーバランスに配慮して選考する

推薦にあたって

- 女性研究者の積極的な推薦をお願いします
- 推薦人数の上限はありません
 - ・選考基準「資格要件」、「必要な資質」に即した方
- 候補者が研究員に就任する際のお願い
 - ・兼業規程や兼業時間制限等に抵触しないような措置
(業務従事時間(年間340時間)と会議出席時間)
 - ・機関内業務の負担軽減
 - ・事務局によるサポート

学術システム研究センター研究員を経験すると

- 研究員経験者からの声
 - 応募者や審査員とは異なる視点から、科研費や特別研究員事業等の理解を深めることができた！
 - この業務がなければ知り合えなかった異分野研究者と交流できた！
 - 自らの専門性を活かしつつ、幅広い視野で学術研究を捉えられるようになった！
- 大学、研究機関にとっては
 - 科研費や特別研究員事業の制度改善や審査委員選考に内側から関わり、深く理解する研究者が機関内にいる
 - 本人だけでなく、機関全体への波及効果が期待できる

連絡先

<https://www.jsps.go.jp/j-center/index.html>

日本学術振興会
学術システム研究センター



TEL 03-3263-1882
E-mail rcss-senkou@jsps.go.jp